

普及活動情勢報告（令和2年4月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

JA高知県吾北支所加工用ワサビ出荷前講習会の開催 ～加工用ワサビ出荷量増を目指して～



熱心に質問する生産者

4月3日にJA高知県吾北支所加工用ワサビ出荷前講習会が生産者8名の参加のもと開催され、出荷に向けての注意点が確認されました。

農業改良普及課からは次作の加工用ワサビ増収に向け、収穫後の除塩対策等について説明しました。「ソルゴーはすき込んでいいのか」「ソバは緑肥として使えないのか」等活発な質疑が行われました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、加工用ワサビの増収や品質向上への支援を行っていきます。

ショウガプロジェクトチーム会の開催 ～品質向上、安定生産に向けて～



集荷場の環境測定データについて検討する様子

農業改良普及課と高吾農業改良普及所では、JA高知県コスモス営農経済センターと月1回、ショウガの品質向上、安定生産に向けてプロジェクトチーム会を開催しています。

4月8日は、永野事業所共同集荷場で、予冷库内の温度、湿度、炭酸ガス濃度の環境測定を行いました。

関係機関からは「予冷库のシャッターを開けると1℃程上がるが、夏場の開閉時の温度はどうなるか?」「収穫直後の温度や炭酸ガス濃度が知りたい」などの意見が出されました。

今後も高吾農業改良普及所やJA等と連携をとり、ショウガの品質向上、生産安定に向けた取り組みを行っていきます。

ズッキーニの生育調査 ～収量と品質の向上に向けて～



生育調査は毎週行っています

土佐市新居地区ではズッキーニの生産が盛んで、JAの生産部会では収量及び品質の向上に向けた取り組みが行われています。同地区では年3作行われる栽培のうち、収量・品質の低下する低温寡日照期に適した品種の選定が課題となっており、現在主要2品種の生育調査等に取り組んでいます。

農業改良普及課では、生育調査等から得られた品種選定の参考になる情報を、生産者やJAと共有しています。今後も関係機関と連携し、ズッキーニの安定生産に向けた支援を継続して行っていきます。